

# 令和6年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2024.12.05(木)

事業コード	24-G-07	学校名	各務原市立尾崎小学校		住所	各務原市尾崎南町3-2
実施日	9月25日(水)13:00~15:15			受講児童生徒数	90名(4年生29名/5年生28名/6年生33名)	
開講職種数	6職種	指導者数	9名	参観保護者数	24名	

## 学校アンケートの結果

- 体験授業全体を通して、満足していただける内容となりましたか  
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

やはり、本物に勝るものはない。本物の技能者に触れてこそ、技能者を目指す児童が現れるであろうことを実感しました。

## 会場担当教員アンケートの結果（6会場の先生）

- この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか  
①大変よく伝わった → 

5
---

      ②ある程度伝わった → 

1
---

  
③あまり伝わらなかった → 

--

      ④全く伝わらなかった → 

--
- 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください

・学校の授業では、自分の興味がある仕事のことを学んだり体験したりできる場がまだまだ少ない。キャリア教育と関連させながら、そういう場をいかにつくっていくかが課題である。(フラワー装飾会場)

## 指導者アンケートの結果（6職種の各代表）

- 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか  
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった 

5
---

  
②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった 

1
---

  
③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった 

--

  
④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった 

--
- 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がありましたら、お聞かせください

・キャリア教育を積極的に取り入れている学校が増えている中、講師としてご指名いただき、ありがたく思っています。これからはAIのような人工知能が世の中を席巻し、多くの仕事がロボットに奪われていく時代になると思っています。仕事を通じて人との“繋がり”を大切にしている私たち職人にとって、自分にしかできない仕事であることに誇りを持っています。そして、仕事とはそうあるべきだと常日頃から感じています。この事業を実施することで改めて原点に立ち返り、自分自身を見つめ直す良い機会にもなっています。私たちの仕事に対する考え方・向き合い方など多くの子どもたちに知って欲しいです。(寝具製作職種)

・今回のものづくり体験授業でもお話ししましたが、私たちの時代と今では技能追求の度合いにかなり変化がありますが、基本は同じだと思います。今回の授業で子供たちの目の輝きを見て、もっとこうした機会を作って「ものづくりは楽しいんだ」と思ってもらえたら幸いです。協力は惜しみませんのでよろしく願います。(建築大工職種)

・AIという言葉を昨今よく耳にしますが、AIだけでは世の中回っていかないと思います。人間の感性はAIには無理では無いかと思っています。人材育成事業の指導者はそれぞれ感性を持っておられ、職人の頭の中は色々な知恵(感性)が入っています。そのような職人の感性に触れることができるこの事業をもっと広めて欲しいです。子供たちにこんな世界もあることを知らせたいです。(貴金属装身具製作職種)

・今回初めて外国の方が3名参加下さいまして、慣れない筆で一息懸命書いてみえたので感動しました。筆も悪く出来れば、予備の筆3本の予算を見ていただきたい。(広告美術仕上げ職種)

・近年AIの進歩目覚ましく、広告業界もほとんど機械化が進み、業界としても技能資格を取得される方がいません。今後は、手作業の素晴らしさ・楽しさを職業講話の時間で伝えていきたいと思っています。短い時間なので体験活動も慌ただしいだけで終わるので、もう少し長く体験授業の時間が取れると良いと思う。(広告美術仕上げ職種)

・業界として周知が足りないからこそ、人材不足が解消されないと思います。授業を通して輝く瞳を見ると、可能性は感じます。もっと時間を増して学年単位等、業界として「ものづくりマイスター」も更に育成しなければなりません。(建築板金職種)

・学校の取り組み方に差があります。まだ小学生だからなのでしょうか。今や技能を身につけることが時代にマッチしていないと思っておられる先生方もいらっしゃるのかもしれない。2~3年もかけて技能試験など受ける必要などないのでは・・・と思っておられる先生方もいらっしゃるようになります。(フラワー装飾職種)

## 会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

	寝具製作	建築大工	貴金属装身具製作	広告美術仕上げ	
指導者数	1	3	1	1	
受講児童生徒数	16	14	16	13	
回答	とても満足した	16	11	11	
	ある程度満足した	0	3	5	
	あまり満足できなかった	0	0	0	
	満足できなかった	0	0	0	
	合計	16	14	16	13

	建築板金	フラワー装飾	合計(左:人 右:%)	
指導者数	2	1	9	
受講児童生徒数	16	15	90	
回答	とても満足した	9	74	82.2
	ある程度満足した	5	15	16.7
	あまり満足できなかった	1	1	1.1
	満足できなかった	0	0	0.0
	合計	15	90	100

## 寝具製作会場の様子



### 先生の感想

- ・人生の三分之一は睡眠時間であり、睡眠の重要性＝寝具の重要性というお話がとても印象に残った。寝具のことについて児童が考えを改める機会となった。
- ・綿の扱いが難しかったが、分かりやすい説明や実演とサポートをしていただいたおかげで、どの子どもも座布団を完成させることができ、達成感を味わうことができた。
- ・講師の方が製作したものと自分たちが製作したものを比べ、その技術の高さに憧れをいただいていた。
- ・まとめでは、講師の方の職業を選んだ理由や思いから「夢の実現のために覚悟をもって勇気のある決断をする必要があること」「お客さんと関わり続けることができる幸せ」を熱く語られた。その姿から思いをもって物事に取り組むことの大切さや働くことで生まれる喜びについて学ぶことができた。
- ・「未来の技能者育成事業」そのものについて、準備や打ち合わせ、報告書作成もあるので、特に小規模の学校においては、職員数も少ないので他の行事との調整がより必要になってくる。

### 児童生徒の感想

- ・前はサラリーマンだったけど、みんなの役に立ちたいと思って布団屋さんになったというお話が印象に残った。
- ・吉田先生は早くて面白くて優しくてプロだった。
- ・自分たちは2時間ぐらいかかったのに、職人の人は25分で出来るということがびっくりした。
- ・気合いや決意がないと、夢は叶えられないというお話が心に残った。
- ・角を伸ばすのをうまくやりたいと思った。吉田さんと同じようにできなかったのが悔しかった。
- ・綿をやぶったり折りたたむのが難しかったけど、先生の説明が分かりやすく、きれいにできた。
- ・綿を畳んだり切ったりする作業が難しかったけど、上手く作れて嬉しかったし楽しかった。

## 建築大工会場の様子



### 先生の感想

- ・体験活動で児童がとにかく夢中で取り組んでいる姿がよかった。
- ・質問コーナーで、講師の先生方が児童の質問に親身に、分かりやすく答えてくださったのが良かった。
- ・のこぎりやかんななど、力やコツが必要な道具を使うことが多かったが、講師の先生方が丁寧に援助してくださったので、安全に楽しく体験活動を行うことができた。
- ・講義の前に講師の方と担当の教員の打ち合わせが必要であることはやむを得ないが、講義当日に教科担任制で他学年の授業に行っていると、その打ち合わせの時間をうまくとることが難しかったため、工夫したい。

### 児童生徒の感想

- ・大工の方々からいただいた言葉の中で「何でも諦めずに頑張るんやぞ」と言われたその言葉で、もっと頑張ってみようと思った。
- ・のこぎりで木を切るとき、まっすぐのこぎりを入れないとうまく切れないということが難しかった。
- ・大工の仕事はケガをたくさんしたり、季節によって暑かったり寒かったりと大変な仕事なんだなと思った。思ったより難しかったけど、楽しかった。
- ・ノコギリで木を切るのが難しかった。角材を削るのが大変だったけど、つるつるになって嬉しかった。
- ・木をギコギコして切るのは初めてだったけど、腕の筋肉が必要になるからすごく大変だった。
- ・大工は本当に好きじゃないとつまらなくなってしまうというお話が一番印象に残った。
- ・かんなやのこぎりが1人前にできるようになるには、たくさんの努力や積み重ねが必要であると知った。
- ・大工の人はかんな削りをきれいに途切れることなくやっていてすごいと思った。
- ・ドリルで穴を開ける作業が楽しかった。



## 貴金属装身具製作会場の様子



### 先生の感想

- ・職業講話や職業体験のいたるところで、お客さんにどのように喜んでもらえたのかを具体的に教えて頂けたので、「人のために仕事をする意味」「人に喜んでもらえることがやりがいになる」「自分の得意なことを仕事にできる幸せ」を、子ども達は実感することができた。
- ・何よりも技術が詰まった作品を最初に見せて頂けたので、子ども達は一気に話の世界に入り込み、憧れを抱き、製作意欲を持つことができた。
- ・キャリア教育の視点からは、その職業に就かれた理由ややりがいなどの話を製作体験の前にしていただけると、さらに有効だったように感じる。

### 児童生徒の感想

- ・「好きなことをする」という言葉が本当に心に残った。
- ・私が作った指輪は隙間があってちょっと嫌だったけど、一応キレイに作れたので満足した。次また作れたら頑張って隙間がない指輪を作りたい。
- ・指輪を作るとき、サイズに合わせて作るのが難しかった。
- ・トンボの羽のアクセサリーや、六角形の穴が開いた指輪など、細かいところまで作っていてとてもすごいと思った。
- ・指輪を心棒に巻く作業が印象に残った。
- ・指輪にボンドなどを付けずにダイヤなどが付いていたからすごいなと思った。
- ・上下先生の作った作品がすごすぎて、作品をもっと見てみたいと思った。上下先生みたいにものづくりが出来る職業に就きたい。

## 広告美術仕上げ会場の様子



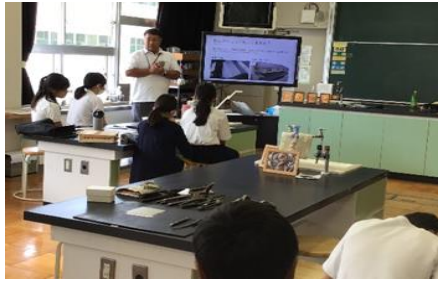
### 先生の感想

- ・レタリングは、思った以上に難しかったが、分かりやすいアドバイスと実演で、どの子も上達した。
- ・自分だけの表札ができたことに達成感や満足感を味わうことができた。
- ・失敗した児童に、やさしく声をかけてもらいました。
- ・卓越した技術は、人を引き付けることが実感できた。
- ・「続けることで上達する」という言葉が印象的でした。
- ・人ができないことを伸ばすとよいことが、分かった。
- ・好きなことを求めれば、食べていける。→ 好きなことを職業にするとよい。  
「あの人いいよ」と思われることで、仕事につながっていく。

### 児童生徒の感想

- ・看板だけでなく、神輿なども作っていることが印象に残った。また、看板などをバランス良く書くときは、学校で習った書き順とは違う書き順で書くということが分かった。
- ・製作実演で実際に文字を下書きなしで描くところがとても印象に残った。
- ・すーっと書いていたのにキレイな曲線を描いていて、すごいと思った。
- ・難しかったけど、1人1人にどんな形で文字を描けば良いか教えてくれたので、やりやすかった。
- ・とても文字がキレイで、まるでコンピューターで描いたようなものだったので、すごいと思った。
- ・表札の文字はきれいに書けたけど、もっとかっこよく書きたかった。
- ・屋上の看板や、遠いところの看板も作っていてすごいと思った。実際に色を使ったりして広告看板を作ってみたかった。

## 建築板金会場の様子



### 先生の感想

- ・銅板を裏からこすったり、表側から輪郭の線をなぞったりすることで、平面だった銅板がどんどん膨らんで立体的になっていったので、子ども達は根気よく作品を作っていた。
- ・子ども達が長い時間をかけて作った作品を、マイスターなら3～5分で作るという話を聞いて、職人の技術のレベルの高さに驚いていた。
- ・家で雨漏りがすると、まず板金屋の人がどこから漏れているかを見つけるという話や、板金の仕事は建物が作られてから取り壊されるまで、長い間作品という形で残るとい話を聞き、素晴らしい職業だと感じる事ができた。
- ・とても明るくはつらつとしていらっしゃるマイスターの姿や、どの子にも「いいよいいよ」「上手！」とたくさんほめてくださったおかげで、全員が「楽しかった」「やってよかった」という思いをもつことができた。
- ・沖縄には金属でできた屋根が無いという話から、その理由について子ども達に投げかけられた。子ども達はいろいろ考え、社会科の学習とつなげることができた。

### 児童生徒の感想

- ・銅板で折り紙のように鶴を折っていたことが印象に残った。
- ・銅板を裏側からこするだけで、飛び出ることには驚いた。
- ・思っていたよりとても楽しかった。板金のことや、作り方がよく分かった。
- ・講話で「イチロー選手の家の屋根を作ったことがある」と教えてもらったのがとても印象に残った。
- ・銅の板がボールペンで少し力を入れるだけで形が出来ていったのが面白いと思った。
- ・自分も折り鶴を板金で作ってみたかった。信田さんは5分で鶴ができてすごいなと思った。
- ・信田さんや安田さんが分かりやすくアドバイスをしてくれて嬉しかった。
- ・銅を叩いてレリーフを作る方法がよく分かった。
- ・最初は平らな板だったのに、鶴が作れるなんてびっくりした。
- ・難しかったけど、たくさんアドバイスをくれて嬉しかった。



## フラワー装飾会場の様子



### 先生の感想

- ・「花が大好きだからこそこの仕事に就いた」ということを何度も熱く語ってくださったことが心に残った。
- ・体験活動をするにあたり、講師の方が先に手本を示してくださったことで、強いあこがれを持つことができ児童が目を輝かせて作品作りに取り組んでいた。
- ・最後に大きな作品を作ってくださりプロの力を目の当たりにして「すごい」と感動の声が挙がっていた。
- ・ポイントは押さえながら(アウトラインの大切さなど)、自分でアレンジする楽しさを味わえるよう工夫していただいたので、「自分だけの作品」ができた満足していた。
- ・作り方のポイントなどをとても分かりやすく説明していただけたことで、どの子も満足した作品ができました。それぞれの児童の作品の良さを褒めてくださったことがとても嬉しかったようで、みんな自信をもって良い雰囲気で作業できました。講師の方の「花が大好きで良い作品を作りたい」という気持ちがよく伝わってきました。

### 児童生徒の感想

- ・質問の時に大きいものまで作ったことがあると聞いたので、作っているところを見たいと思った。
- ・もっと色々な長縄先生の作品を見てみたかった。
- ・先生は短い時間できれいなフラワーアレンジメントを作っていてすごいと思った。
- ・花の種類など、知らないことばかりでとても勉強になった。
- ・作るときの順序はどんどん刺していだけかと思っていたけど、アウトラインから刺していくことを知った。
- ・自分だけのオリジナルのフラワーアレンジメントが作れて嬉しいし、楽しかった。
- ・色々な花を使って作ったことが楽しかった。知らない花などもあってびっくりした。上手と言ってもらえたので、自信を持って作ることが出来た。
- ・どうして花が好きになったのかを聞いてみたかった。
- ・竹や花唐辛子を使ったところが印象に残った。